

4 地域支援センター事業

地域支援センターは、地域における障害者・高齢者等へ適切なリハビリテーションサービスを円滑に提供するための業務を全県的な立場で行っている。地域支援室では、リハビリテーションの人材育成研修、地域リハビリテーション支援に関連する活動、県委託事業である神奈川県リハビリテーション支援センター事業を行っている。県委託事業に関してはリハビリテーション情報の提供、人材育成、関係機関の連携を推進する業務を行っている。高次脳機能障害支援室では「高次脳機能障害支援普及事業(国事業)」の支援拠点機関として支援コーディネーターと心理判定員が配置されており、高次脳機能障害者への相談支援、普及啓発活動、研修事業等を行っている。

(1) リハビリテーション専門研修

医療・保健・福祉・介護専門職を対象とした研修で、平成 27 年度は 25 コースを実施し、受講者の総数は延べ 1256 名であった。特に今年度は障害者相談支援専門員を対象とした「身体機能障害の理解」、障害者生活支援員を対象とした「知的障害の方の身体機能低下への対応」など障害者の高齢化に対応する研修を実施した。

NO.	区分	開催日	定員	受講者数	延数	評価/5点	内部参加者
1	脳血管障害の理学療法	4/23,5/21	20	21	41	4.8	8
2	脳血管障害のリハビリテーション(理解編)	5/19	30	53	53	4.3	2
3	摂食・嚥下障害のリハビリテーション	6/2	30	39	39	4.4	0
4	脳血管障害の作業療法	6/6	16	14	14	4.7	0
5	イブニングセミナー「パワーアシストハンド」	6/17	20	9	9	4.4	31
6	OTハンドリング入門	7/4	40	50	50	4.7	0
7	機能訓練指導員研修	7/7,7/8	40	52	104	4.3	0
8	PTハンドリング入門	7/11	40	37	37	4.7	2
9	股関節症のリハビリテーション	7/18	24	22	22	4.8	2
10	車椅子シーティングの理論と実際	8/25	30	32	32	4.5	0
11	補装具専門研修	9/8	20	19	19	4.4	0
12	重度身体障害の方へのテクニカルエイド(難病編)	9/12	30	24	24	4.6	0
13	住宅改造・改修セミナー	9/19	30	49	49	4.4	2
14	排便ケアの知識と実践	10/9	50	61	61	4.2	1
15	排便ケアの知識と実践	10/20	50	64	64	4.4	1
16	脊髄損傷のリハビリテーション(理解編)	10/28	30	30	30	4.3	1
17	脊髄損傷のリハビリテーション(実務編)	10/31	30	25	25	4.7	0
18	PT・OTのための土曜教室	10月～2月の 土曜日 月1回開催	24	32	145	4.8	0
19	重度身体障害の方への在宅就労支援	11/3	30	19	19	4.5	0
20	褥瘡予防セミナー	11/10	50	68	68	4.5	1
21	身体機能障害の理解	11/19,12/3	20	36	68	4.3	8
22	市民・当事者向け研修	12/11	150	162	162	-	0
23	知的障害の方の身体機能低下への対応	12/8,12/9	40	44	85	4.4	2
24	脳血管障害の下肢装具	H28 1/23	24	21	21	4.5	0
25	義肢装具セミナー(スプリント編)	H28 2/6	30	15	15	4.8	1
合計			898	998	1,256	4.5	62

(2) 地域リハビリテーション支援関連活動

ア 「かながわ地域リハビリテーション支援連絡会」政令市のリハセンターとの連絡会

平成 24 年度より横浜市総合リハセンター、川崎市北部リハセンター、れいんぼう川崎と相模原市の更生相談所と共同で開催している。今年度の開催日とテーマは以下の通りであった。

日時	開催場所	テーマ
7/24	横浜市総合リハセンター	「地域包括ケアとリハビリテーション」
11/30	川崎市北部リハセンター	「子どもの支援について～療育・教育・医療との連携など～」
2/29	相模原南メディカルセンター	「難病患者等の支援について」

イ 地域医療介護連携会議等への参加

1) 「厚愛地区医療介護連携会議(厚木市保健福祉事務所地域包括ケア会議厚木地区分科会)」

厚木市、愛川町、清川村の医療・介護・福祉に関わる職種及び行政機関を構成メンバーとし、

住民が生涯にわたり住み慣れた場所で自分らしく安心して暮らせる社会の実現を目指す人材育成のための多職種連携研修や住民向け講演会、情報提供などの取り組みを行った。(毎月1回開催)

2) 「神奈川県小児等在宅医療推進会議」、「茅ヶ崎地区小児等在宅医療連絡会議」

平成26年度は厚生労働省受託事業「小児等在宅医療連携拠点事業」、27年度は県独自事業とし、在宅療養を行う医療依存度の高い小児に対して必要な医療福祉サービスが提供され安心して地域で暮らせるように医療福祉教育等の関係機関が連携し小児の在宅医療を支える体制を図ることを目的とした推進会議、および茅ヶ崎保健福祉事務所の所管区域をモデル地域とした実務担当者会議である。県小児等在宅医療推進会議は神奈川リハセンターより小児科医、支援センター所長(3/25)、茅ヶ崎地区小児等在宅医療連絡会議は支援センターSWが出席した。(11/20、3/9)

3) 「地域ケア会議」(毎月1回開催)

開成町の「地域ケアねっとわーく会議」にリハビリ専門職としてOTが出席した。

4) 「自立支援協議会(県、保健福祉圏域、市町村)」

6/22, 1/28	県央障害保健福祉圏域自立支援協議会
8/17, 3/25	清川村障がい者協議会
9/2, 3/23	神奈川県障害者自立支援協議会
10/9	海老名市自立支援協議会

ウ リハ専門関連団体との連携

地域包括ケアを進めるにあたり、リハビリテーション専門職の役割が重要視されている。リハビリテーション専門職の職能団体や神奈川地域リハビリテーション三団体協議会、地域のリハビリテーション連絡会と情報交換し、各地域での連携の進捗状況を知るとともに、連携を促すための取り組みを行った。

エ 障害者更生相談所 補装具支給についての評価・判定協力業務

神奈川県障害者更生相談所、相模原市更生相談所がそれぞれ主管する補装具支給に関する業務のうち、電動車椅子と重度障害者意思伝達装置の評価・要否判定について、専門的技術と知識を有する当センターの評価スタッフチームが更生相談所業務の協力を行った。

評価判定 補装具	県	評価・要否判定件数	相談件数	対応件数	関与スタッフ(延べ数)
	相模原				
電動車椅子	県	9	17	44	Dr(17)PT(20)RE(35)SW(43)
	相模原	3	3	8	Dr(4)PT(6)RE(12)SW(8)
重度障害者用意思伝達装置	県	0	1	1	SW(1)
	相模原	0	0	0	なし

オ 保健福祉事務所への難病患者支援研修等の協力

日時	依頼元	内容	件数および参加人数	派遣職員
9/10	厚木保健福祉事務所 大和センター	難病リハビリ相談	2名	PT
9/15	厚木保健福祉事務所	難病講演会	15組	PT2
10/15	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	難病リハビリ相談会	6組	PT・OT
11/12	平塚保健福祉事務所 秦野センター	難病リハビリ教室	8名	PT2
12/10	平塚保健福祉事務所	難病患者在宅ケア従事者研修講師	50名	OT
12/17	茅ヶ崎保健福祉事務所	在宅難病患者保健医療福祉従事者研修	60名	PT2
1/14	平塚保健福祉事務所 秦野センター	難病リハビリ教室	13名	PT2
3/3	厚木保健福祉事務所 大和センター	難病リハビリ相談	2名	PT

カ その他の行政機関主催の研修への講師派遣

茅ヶ崎市、開成町における一般住民向け研修、松田町、南足柄市の家族介護教室、鎌倉保健福祉事務所の療育支援事業の研修にリハビリテーション専門職を講師として派遣した。

〔3〕 神奈川県リハビリテーション支援センター事業(県委託事業)

ア リハビリテーションの相談対応・情報提供

1) リハビリテーション専門相談

リハビリテーション専門相談は、リハビリテーションを必要とする高齢者・障害者が住みなれた地域で自立した生活が送れるよう、当支援センターの専門スタッフが市町村及び地域のリハ関係機関と協働して総合相談・情報提供・技術支援などの支援活動を実施するものである。目的は課題の解決のみならず、相談事例を通して医療・介護・福祉の連携を図ることで、地域の状況に応じたリハシステムの構築を目指す。地域の支援者との協働は地域におけるリハに関する相談や調整を行うリハコーディネーターの人材育成にも関与するものである。相談支援の活動では制度間の枠を超えた多職種・多機関による包括的アプローチを行うことで、地域にあるリハ資源を積極的に活用し、自立支援の観点の基本にしたケアプランや個別支援計画の作成などに寄与する。

平成 27 年度の相談対応件数は七沢病院脳卒中総合相談を合わせ延べ 496 件、新規相談件数は 180 件で内容は次の通りであった。

リハ専門相談対応件数	件数	保健福祉圏域別	合計	構成比	相談依頼元	相談件数	件数	構成比
電話	220	横三	8	4.4%	本人家族	23	12.8%	
訪問	65	県央	73	40.5%	障害者施設	21	11.7%	
来所 面接	58	湘南東部	21	11.7%	居宅介護支援事業所	20	11.1%	
メール・その他	14	湘南西部	36	20.0%	障害者相談支援事業所	20	11.1%	
合計	357	湘南西部	36	20.0%	病院	18	10.0%	
七沢病院脳卒中総合相談	139	県西	26	14.4%	障害者更生相談所	17	9.4%	
合計	496	横浜	4	2.2%	訪問看護事業所	16	8.9%	
		川崎	1	0.6%	市町村	12	6.7%	
		相模原	7	3.9%	地域包括支援センター	10	5.6%	
		県外	1	0.6%	保健福祉事務所	4	2.2%	
		不明	3	1.7%	高齢者施設	2	1.1%	
		合計	180	100.0%	訪問介護事業所	0	0.0%	
					その他	17	9.4%	
					合計	180	100.0%	

障害別 相談件数	件数	構成比
神経・筋疾患	47	26.1%
脳性麻痺	33	18.3%
脳血管障害	21	11.7%
脊髄損傷	20	11.1%
後天性脳損傷(GVA以外)	15	8.3%
脊髄疾患	12	6.7%
骨関節疾患	9	5.0%
不特定	0	0.0%
不明	2	1.1%
その他(内部疾患・切断)	21	11.7%
合計	180	100.0%

2) 情報提供

ホームページ上で県内のリハビリテーション関係機関等に関する情報の提供を行っている。また、リハビリテーション専門研修の開催案内及び募集や、支援センターで行っている事業の情報発信を目的に広報誌「地域支援センターだより」を掲載し、広く情報の提供に努めている。平成 27 年度のアクセス総数は 43815 件であった。平成 25 年 7 月からはフェイスブックによる情報提供も開始し、平成 27 年度のアクセス総数は 93866 件であった。

3) かながわりハビリテーション・ケアフォーラム

平成 28 年 3 月 12 日かながわ労働プラザにて開催した。今回は平成 29 年から市町村が中心になって実施される介護予防・日常生活支援総合事業とリハビリテーションの関わりをテーマに、特別講演は奈良県生駒市の田中明美氏から「自助・互助を促進する自治体・保健師活動とリハビリテーション」と題して生駒市の全国に先駆けた取り組みについて講演していただいた。シンポジウムでは、「介護予防・日常生活支援総合事業とリハビリテーション」として県内の行政、リハビリテーション専門職、地域包括支援センター、それぞれの立場からのかかわりについてプレゼンテーションをいただき、特別講演の田中氏を交えて討議した。参加者は 73 名であった。

イ リハビリテーション従事者、利用者やその家族を対象とした研修

今年度は介護予防・日常生活支援総合事業へのリハビリテーション専門職のかかわり方を進めると共に障害福祉分野へのかかわりを多く持ち、研修や会議等への参加を進めた。

1) リハビリテーション従事者向け研修

○ 地域リハ推進シンポジウム「すすめよう！大磯二宮における地域リハビリテーション」

平成28年2月23日(水)中郡大磯二宮地域、二宮町生涯学習センターラディアンにおいて、医療・介護・福祉分野の連携をはかる目的で「湘南ウエスト大磯二宮介護事業所連絡会」との共催でシンポジウムを開催した。新しい地域支援事業として「介護予防・日常生活支援総合事業」を導入するにあたり、リハ専門職の活用が明確に打ち出されたことから、地域のリハ専門職と地域の基幹病院である東海大学付属大磯病院のリハ職を交えた、更なる地域の医療介護連携を目指したシンポジウムを実施した。参加者は155名であった。

◆シンポジウム 「すすめよう！大磯・二宮における地域リハビリテーション」	
座長 神奈川県リハビリテーション支援センター MSW 橋田桂子	
①加藤浩吉	新しい介護予防事業におけるリハ専門職への期待 二宮町 健康福祉部 健康長寿課
②青柳留美子	支援する現場から求めるリハビリ専門職との連携 湘南ウエスト大磯二宮介護保険事業所連絡会 (中井富士白苑居宅介護支援センター 介護支援専門員)
③大田哲司	東海大学大磯病院が目指す地域連携 東海大学医学部付属大磯病院リハビリテーションセンター 言語聴覚士
④池上善宏	地域で働くリハ専門職の想い りんどうリハビリ看護ステーション 理学療法士
【指定発言】安藤節郎 神奈川県理学療法士会 湘南西部ブロック長 (介護老人保健施設 めぐみの里 理学療法士)	

2) 一般市民、当事者家族向け研修

○ 「大和市民対象とした福祉機器用具展示体験会」(会場：大和イオンモール)

大和市における高齢者・障害者・子どもなどあらゆる層の住民を対象とした地域リハビリテーションを推進するために、医療・介護・福祉分野の連携と啓蒙をはかる目的で福祉機器・用具の展示、体験会と従事者向け研修を実施した。大和市自立支援協議会と障害福祉課

「福祉用具フェスティバルin大和」			
1. 日時	平成28年2月13日(土)13:00~16:30	2. 場所	イオンモール大和イオンホール
3. 内容	展示 13:00~16:30		
ベッド	フランスベッド(株)	自助具	アビリティーズケアネット(株)
車椅子、電動車椅子	(株)フロンティア	介護食品	渡辺商事(株)
リフト、スリングシート	(株)モリト	尿量測定器	ユリケア(株)
コミュニケーション機器	パンフィックサプライ(株)	チェアスキー体験	神奈川県総合リハセンター
コミュニケーション機器	ダブル技研(株)		
研修プログラム			
時間	研修名	講師	
13:30~14:30	リハビリ専門職から学ぶ 「腰痛予防」	講師	桜ヶ丘中央病院 理学療法士 小野雅之
		アシスタント	桜ヶ丘中央病院 理学療法士 川越潤一
			南大和病院 理学療法士 長島英哉
			みどり野リハビリテーション病院 理学療法士 長内祥太郎
15:00~15:30	移乗用リフトを使って安心生活	講師	神奈川県総合リハビリテーションセンター 七沢療育園 生活支援員 吉川 匡

との共催に加え、地域の医療機関や事業所、職能団体等からリハビリ専門職にも協力を仰ぎ、他職種連携と地域包括ケアを目指した取り組みの機会とした。参加者は100名であった。

○ 「小田原養護学校生徒、保護者、教員対象とした福祉機器用具展示体験会」

福祉用具体験会は家族や学校関係者が福祉機器・用具の知識を持ち使用方法を体験し、社会参加の機会の拡大や介助負担の軽減などを目的としている。

日 時	学 校	主催	生徒・保護者教員等参加者数	地域の協力スタッフ職種 人数 神奈リハ スタッフ 職種 人数	協力業者
8/26(水)	県立小田原養護学校	学校 PTA	約 60名	小田原障害者総合相談クローバー SW2 神奈リハ PT.1、OT.1、RE.3、VR1、SW1	10社

3) 市町村障害福祉課・相談支援事業所者における研修、事例検討会

今年度はリハビリテーション専門機関の立場より保健福祉圏域自立支援協議会の参加や市町村障害福祉課や相談支援事業所連絡会等に参加し、障害者の地域生活にリハビリテーションの観点から支援するプラン作りや相談技術について、研修や事例検討会等を実施した。

8/18	海老名市相談支援事業所	説事業明
9/3	大和市自立生活支援部会	研修 「障がいのある人のリハビリテーションについて」
10/21	県央圏域相談 支援事業所連絡会	事例検討会 「相談支援に生かすリハビリテーション」
10/29	座間市障害福祉課、相談支援事業所	事業説明

(4) 高次脳機能障害支援普及事業

障害者自立支援法に基づく 高次脳機能障害者の支援拠点機関として 高次脳機能障害支援普及事業を行っている。

ア 神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

高次脳機能障害者に関する地域支援ネットワークの充実を図るため、神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会を開催した。

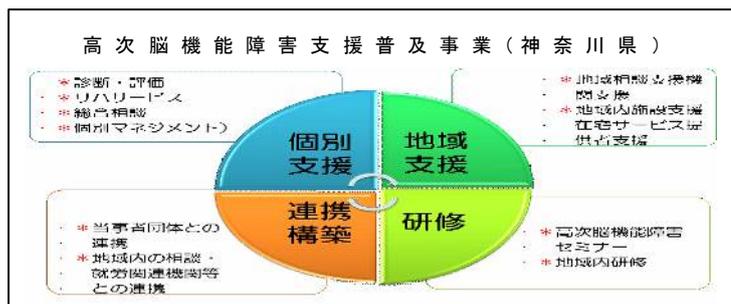
・ 日時：平成 28 年 3 月 3 日（木） 15:00～17:00 場所：波止場会館

(委員会の構成員)

区分	所属
学識経験者	神奈川県保健福祉大学 保健福祉学部社会福祉学科
県の機関	保健福祉局保健医療部県立病院課、保健福祉局福祉部障害福祉課、精神保健福祉センター、総合療育相談センター
国の機関	障害者職業センター
横浜市	横浜市総合リハビリテーションセンター
川崎市	川崎市北部リハビリテーションセンター
当事者団体	障害福祉課
相模原市	NPO 法人脳外傷友の会ナナ
職能団体	医療社会事業協会、かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク
サービス提供事業所	愛名やまゆり園
リハセンター	地域支援センター所長ほか4名
計	17名

イ 拠点機関の支援内容の概要

地域支援センターでは、高次脳機能障害相談支援コーディネーターを3名配置し、個別支援、地域支援、研修、地域連携を柱とした事業を実施している。



1) 個別支援の状況

表1 相談依頼元の相談件数（重複）

区分	件数	構成比
本人・家族	115	41.1%
医療機関（外来含）	106	37.8%
地域相談窓口	46	16.4%
市町村	2	0.7%
障害者施設	3	1.1%
介護保険関係機関	7	2.5%
家族会	0	0.0%
その他	1	0.4%
合計	280	100.0%

表2 相談内容別の相談件数（重複）

区分	件数	構成比
就労・教育等	1059	15.4%
経済・制度利用	1438	20.7%
福祉サービス・社会資源	1071	15.4%
家族支援	881	12.7%
リハ訓練（通プロ含）	840	12.1%
医療	501	7.2%
補装具	6	0.1%
福祉機器・用具	2	0.0%
看護・介護方法	4	0.1%
生活課題への対応	1133	16.3%
住宅改修	1	0.0%
医療機関紹介	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	6936	100.0%

表3 障害別の相談件数

区分	件数	構成比
成人外傷性脳損傷	94	33.9%
脳卒中	103	37.2%
神経難病	1	0.4%
小児脳損傷	12	4.3%
脊損・頸損	0	0.0%
骨・関節疾患	0	0.0%
不明	11	4.0%
その他(低酸素脳症等)	56	20.2%
合計	277	100.0%

表4 相談に対する保健福祉圏域別の件数

区分	件数	構成比
横浜	79	13.7%
川崎	47	8.1%
相模原	73	12.5%
県央	91	15.6%
横三	42	7.2%
湘南東	56	9.6%
県西	36	6.2%
湘南西	86	14.8%
県外	66	11.3%
不明	6	1.0%
合計	582	100%

2) 研修会の開催

研修名	対象者	開催日	開催場所
高次脳機能障害セミナー (理解編)	限定無し	8月30日(土)	県総合医療会館
高次脳機能障害セミナー (小児編)	医療・福祉・職業・行政等の分野で 障害福祉にかかわっている者	10月24日(土)	おださがプラザ
高次脳機能障害セミナー (実務編・一般)	医療・福祉・職業・行政等の分野で 障害福祉にかかわっている者	12月5日(土)	アミュあつぎ
高次脳機能障害セミナー (就労支援編)	MSW, P SW, 相談支援従事者、 ハローワーク等の職員	1月30日(土)	藤沢市商工会議所

3) 連携構築

a 政令指定都市との連携

政令指定都市在住者への支援が多いことなど政令指定都市内の中心的機関との連携支援の必要性が高い状況にある。そのため、横浜市総合リハビリテーションセンター、川崎市北部リハビリテーションセンター、れいんぼう川崎及び相模原市障害福祉課と定期的な情報交換会を実施した。

開催日	開催場所	参加機関
5月29日	相模原市南区保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市総合リハセンター (SW・職能担当) 川崎市北部リハセンター (SW、保健師) れいんぼう川崎 (SW)
12月22日	相模原市南区保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 相模原市障害福祉課 神奈川県障害福祉課 神奈川県リハ支援センター (コーディネーター・職能担当)

エ 巡回相談事業

- 1) 相模原（プラスかわせみ）：第1土曜日 10時から12時
- 2) チャレンジⅡ：第1水 14時から16時 当事者会・第3水曜日 13時から15時 家族会
- 3) 小田原（おだわら障がい者総合相談センター）：第1金曜日 14時から16時
- 4) 大和（大和市障害者自立支援センター）：第3水曜日 14時から16時

オ 事例検討会等

1) 事例検討会

- a 7月10日 ふらすかわせみ：開催（参加者16名）相談支援2名、医療機関3名、通所施設9名、介護保険施設1名、行政1名
- b 10月9日 第3ありんこホーム：開催（参加者20名）通所施設12名、相談支援2名、神奈川リハ6名
- c 10月16日 ふれあい平塚ホスピタル：開催（参加者17名）MSW7名、OT4名、ST1名、相談支援専門員3名、老健相談員2名
- d 10月21日 楽庵：開催（参加者8名）楽庵6名、チャレンジⅡ2名
- e 2月3日 チャレンジⅡ：開催（参加者19名）相談支援専門員4名、MSW7名、地域包括支援センター4名、行政2名、CM1名、PT1名
- f 3月8日 ゆんるり開催（参加者：ゆんるり職員7名）
- g 3月25日 ふらすかわせみ：開催（参加者17名）（MSW3名、PSW1名、ST2名、地域包括支援センター2名、障害者通所施設7名、相談支援専門員1名、就労支援機関1名）

2) 県内研修会への講師派遣

- a 5月22日 身体障害者・知的障害者新任職員研修
- b 6月17日 湘南東部地区精神障害者就労支援促進協議会
- c 7月3日 精神障害者新任職員研修
- d 8月20日 横三圏域相談支援ネットワーク形成事業事例検討会
- e 9月13日 リハビリテーション講習会（川崎）
- f 11月8日 リハビリテーション講習会（伊勢原）
- g 11月19日 アガペセンター職員研修会
- h 11月25日 相模緑風園職員研修会
- i 11月30日 相模原市研修会
- j 1月24日 リハビリテーション講習会（茅ヶ崎）

カ ネットワーク育成事業：高次脳機能障害支援機関ネットワーク連絡会

- 1) 平成27年度 第1回 高次脳機能障害支援機関ネットワーク連絡会
日時 平成27年7月17日（火）15時から17時半
場所 スペースナナ
- 2) 平成27年度 第2回 高次脳機能障害支援機関ネットワーク連絡会
日時：平成28年2月23日（水）10時から12時半
場所：久里浜駅前レンタル会議室

キ 国との連携：全国高次脳機能障害相談支援コーディネーター会議

- 1) 平成27年6月24日：国立障害者リハビリテーションセンター学院
- 2) 平成28年2月19日：戸山サンライズ